

⑨ 日本国特許庁 (JP)
 ⑩ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
 昭56—32218

⑫ Int. Cl.³
 B 65 B 57/00

識別記号

厅内整理番号
 6443—3E

⑬ 公開 昭和56年(1981)4月1日

発明の数 2
 審査請求 有

(全 8 頁)

⑭ 自動包装機に於けるフィルムマーク合わせの
 検出基準時期設定方法

⑭ 発明者 錚久清一

高槻市登町174番地

⑮ 特 願 昭54—129113
 ⑯ 出 願 昭50(1975)11月1日
 ⑰ 特 願 昭50—131873の分割

⑭ 出願人 株式会社オーエム製作所

大阪市北区梅田1丁目12番17号

⑭ 代理人 弁理士 江原省吾

明細書

1. 発明の名称

自動包装機に於けるフィルムマーク合わせの
 検出基準時期設定方法

2. 特許請求の範囲

(1) 所定ピッチで切り出し用マークを印刷して
 なる包装部材の振り出し経路。マーク検出
 部と、可変速度振り出しローラーと、定速カフ
 ターを備え、包装部材のマークピッチで切断間
 隔を合わせてなる定速カフター部の回転に比
 例してペルスを発生させ、この定速カフターの
 ノコギ部分のペルス群を計数し、このペルス群を
 重り個数と、過多個数とにより分し、前記マーク
 検出部がマークを検出したとき、前記計数値が
 重り個数か、過多個数かを判定して可変速度振
 き出しローラーによる包装部材の振り出し速度を
 自動的に修正する自動包装機において、最初
 のカットマークとの切断刀と包装部材のマー
 クとを順次合わせた状態で始動させ、マーク
 検出部が最初にマークを検出したとき、前記定
 速カフター部の回転に比例して発生しているペ
 ルスの計数を開始すると共に、この時点を以
 後のマーク検出基準時期とし、既に零目以降の
 マークを前記マーク検出部が検出したとき、こ
 の計数値が上記マーク検出基準時期に對して過
 多個数か、或は過多個数かを判定して可変速度
 振り出しローラーによる包装部材の振り出し速
 度を自動的に修正するようになしたことと特徴とす
 るフィルムマーク合わせの検出基準時期設定方
 法。

(2) 所定ピッチで切り出し用マークを印刷して
 なる包装部材の振り出し経路。マーク検出
 部と、可変速度振り出しローラーと、定速カフ
 ターを備え、包装部材のマークピッチで切断間
 隔を合わせてなる定速カフター部の回転に比
 例してペルスを発生させ、この定速カフターの
 ノコギ部分のペルス群を計数し、このペルス群を
 重り個数と、過多個数とにより分し、前記マーク
 検出部がマークを検出したとき、前記計数値が
 重り個数か、過多個数かを判定して可変速度振
 き出しローラーによる包装部材の振り出し速
 度を自動的に修正するようになしたことと特徴とす
 るフィルムマーク合わせの検出基準時期設定方
 法。

(1)

(2)

出し速度を自動的に修正するようになし、更に最初のマーク検出信号によつて設定したマーク検出基準時間に基づいて補正スイッチ等により補正できるようにしたから、只つた既断ピアチの包装紙の取り替え作業時に従来の用ひ時間が必要としない。又どの様なマークピアチの包装紙であつても、始動開始時、包装紙マークとカッターを合わせる作業のみで、マークとマーク検出器を合わせることなく、自動し操作することが可能であり、強制取り付けの自由度が増す。更にマーク検出基準時間カウンタのカウント数を増減することによつて変更できる補正精度を提供したから操作を停止することなく、マークに対するカッターでの切削位置を任意に設定できる。

更に本発明は最初にマーク検出基準時間を設定するときには、包装紙を運転状態にして設定しているので、フィルムのタルミや、ギヤのバクタクシユや、ベルト又はテニーンのタルミ等による既定誤差が介入することなく、始つて

(25)

特開昭56-32218(7)

正確かつ、高精度の作業を行わせることができる。

図面の簡単な説明

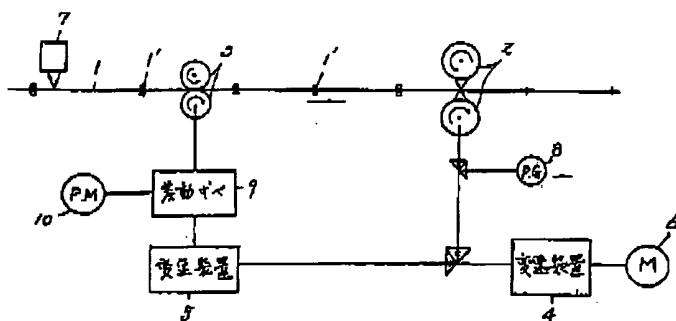
第1図は本発明の機械構成の底略図、第2図はその取扱説明、第3図はその起動回路、第4図は電気回路の該形図である。

(1)・・包装紙材、(2)・・マーク、(3)・・寫透カッター、(3')・・可変速度組り出しローラー、(4)(4')・・変速装置、(5)・・モーター、(6)・・光電スイッチ、(6')・・ペルス発送器、(8)・・起動ギヤ、(9)・・ペイロットモーター、(10)・・計数回路、(11)・・マーク検出回路、(12)・・判定制御回路。

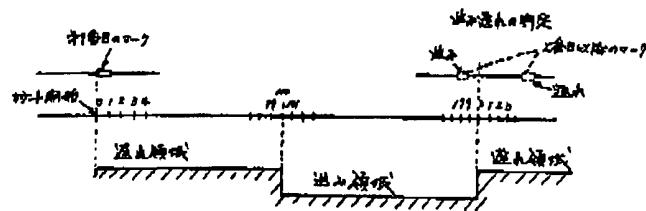
特許出願人 株式会社 オーエム製作所
代 理 人 江 川 一 雄

(34)

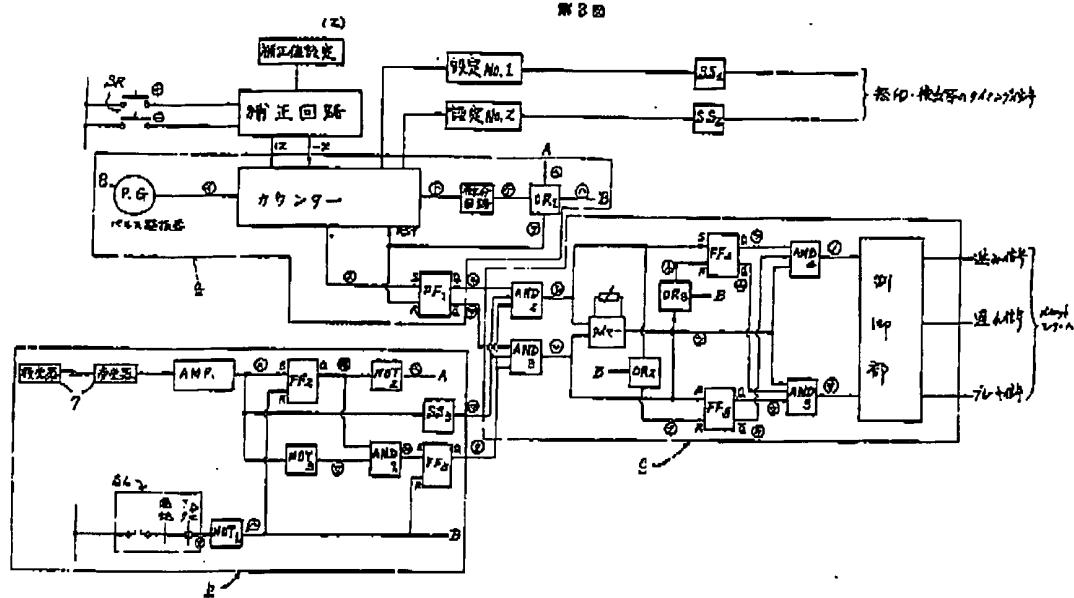
第1図



第2図



196226- 32218 (8)



第4回

→部分実装入		I_1^{\prime}	I_2^{\prime}	I_3^{\prime}	I_4^{\prime}	I_5^{\prime}
P.G	出力②	1	1	1	1	1
SL	出力③	1	1	1	1	1
NOT ₁	出力④	1	1	1	1	1
AMP	出力⑤	1	1	1	1	1
FF ₁	出力⑥	1	1	1	1	1
NOT ₂	出力⑦	1	1	1	1	1
AND ₁	出力⑧	1	1	1	1	1
FF ₂	出力⑨	1	1	1	1	1
NOT ₃	出力⑩	1	1	1	1	1
AND ₂	出力⑪	1	1	1	1	1
FF ₃	出力⑫	1	1	1	1	1
NOT ₄	出力⑬	1	1	1	1	1
AND ₃	出力⑭	1	1	1	1	1
FF ₄	出力⑮	1	1	1	1	1
NOT ₅	出力⑯	1	1	1	1	1
AND ₄	出力⑰	1	1	1	1	1
FF ₅	出力⑱	1	1	1	1	1
NOT ₆	出力⑲	1	1	1	1	1
AND ₅	出力⑳	1	1	1	1	1